

第57回

発表：串本 剛准教授、松河秀哉講師

所属：教育評価分析センター

専門：串本 剛(高等教育論)、松河 秀哉(教育工学)

「東北大学における全学教育のクォータ制」

General Education Curriculum of Tohoku University on a Quarter System

申込不要×当日参加歓迎
お気軽にご参加下さい。

6月26日（火）12:10～12:50

(40分間：発表25分、質疑応答15分)

※昼休みに持参弁当を食べながら

東北大学川内北キャンパス

川北合同研究棟1階 101ラウンジ

正午PD (Professional Development) 会

東北大学の全学教育では2017年度より、3年間を目処とした検証を前提に、クォータ制が試行的に実施されている。全学教育におけるクォータ制導入の目的には、①学修効果の向上、②教育指導の充実と研究の高度化、③グローバル化への対応、の3つがある(「柔軟な学事歴検討プロジェクト・チーム」最終報告書、2016年3月31日)。本PDでは、このうち①学修効果の向上に注目し、その目論見について、同PTおよび時間割編成に関するWGのメンバーであった串本が説明する。またCIRの一員として教育情報・評価改善委員会の活動を支援している松河が、当初の目論見がどの程度実現しているのかに関して、成績評価および授業評価の結果を使って報告する。参加者からは忌憚のない質問、意見を期待したい。

高度教養教育・学生支援機構
Institute for Excellence in Higher Education

問い合わせ先：
高度教養教育・学生支援機構
学際融合教育推進センター 藤本敏彦
E-mail: tfujimoto@m.tohoku.ac.jp Tel: 795-7769